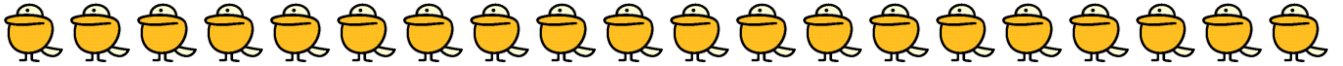




# の み が わ

2011年12月20日発行（通算第63号）  
 連絡先 〒146-0085 大田区久が原 4-19-24  
 発行 大坪庄吾方 呑川の会  
 呑川の会 e-mail [s.ootubo@nifty.com](mailto:s.ootubo@nifty.com)  
 呑川の会 HP <http://home.m00.itscom.net/nomigawa/>  
 高橋会員 HP <http://homepage2.nifty.com/aoiyume/>



年の瀬も迫ってきました。呑川の会も今年度は多様な活動を行い、会員がそれぞれの場で活躍しました。12月10日（土）蒲田小学校で定例会を行い、今後の活動についても話し合いました。年末から年明け以後の予定をお知らせします。都合のつく方はいずれの会へも参加ください。

**呑川の会会報 63号の印刷・発送・掲示** 12月20日(火) 午前9時半 大田区消費生活センター2階ボランティアコーナーのリソグラフで印刷（発送し、ラミネートしたものを4ヶ所の掲示板に！）  
**雪谷小学校 冬のわくわくスクール『呑川博士になろう』** 12月24日(土) 13時～16時  
 父母と子どもの参加する行事 呑川の話 ウォーキング 感想発表・学習

## 2012年春の活動

- 呑川ネット定例会** 1月10日（火）午前10時 生活センター講座室  
 「呑川のあらまし」編集会議 1月20日(金) 小池小エコフェスタの展示準備 池上文化センター  
 久原小フェスタ参観 2月17日(金)・18日(土) 呑川調べの発表がある。自由参加  
**呑川の会定例会** 2月18日(土) 時間と会場は後日連絡 エコフェスタの準備  
 大田区エコフェスタ 2月19日(日) 小池小学校 呑川の紹介 呑川写真展  
 大田区・花とみどりのまちづくり展示依頼 3月9日(金)・3月10日(土)  
 アプリコ 地階 展示室 参加予定。  
**呑川写真展** 3月24日(土)と25日(日) 大田区産業プラザ2階 観光・情報コーナー  
 写真募集のチラシを同封しました。会員の方の呑川写真をぜひ出品してください。募集期間 1月5日～2月29日  
**石神井川と三宝寺池のウォーク** 4月7日(土) 案内 白石・菱沼  
**呑川の会定例会** 4月21日(土)6月の総会にむけて年間の活動の反省・新年度の企画について話し合い  
**呑川の会総会** 6月中旬 日時と会場は後日連絡します。

## 12月呑川の会定例会

活動報告・新会員（伊東望東子さん）を了承し、今後の活動計画を話し合いました。

## 今年前半の主な活動

- 7月27日 東京都河川優良ボランティア団体として表彰される。
- 9月15日 のみがわ第62号発行 会の案内方法について変更。
- 10月8・9日 雪谷文化センターまつりに参加。展示と会員募集活動。
- 10月29日 呑川の会定例会。
- 11月12日 妙正寺川ウォーク。
- 11月27日 生活者ネット依頼の呑川下流域案内に4人参加。
- 12月1日 下水道局河川部計画課との懇談。（ほかに南部下水道事務所とも懇談）。



10月から12月にかけて東京都都市整備局都市基盤部、建設局河川部、下水道局計画調整部および同南部下水事務所を訪ね、呑川への浸水対策、合流式改善対策等につき、それぞれ呑川の会会員数人とともにヒアリングをしてきましたので、報告いたします。

### ★呑川の浸水対策について

呑川流域の浸水対策は時間降雨50ミリ対応については建設局、下水道局ともに概成しているということである。時間降雨50ミリに対する浸水をゼロにする施設整備状況を示す「浸水対策整備率」という指標が下水道局にあり、東京都では平成21年度末実績で60%、平成24年度末目標63%と記されている。しかし呑川流域および大田区の浸水対策整備率は提示されなかった。これはその数値が公表されると問題が生じる恐れがあるということであるが、再考する必要があると思う。しかし少なくとも呑川流域については、50ミリ対応はほぼ100%に近い。

そこで呑川流域に対しては現在50ミリ対応に関し、新たな施策はないが、馬込地区の浸水対策である馬込西二号幹線流域の整備は平成23年度末完成予定である。馬込西二号幹線の流下先となる馬込幹線の下流部は実施時期は未定であるが、現在放流先、布設ルート等を検討中とのことである。

### ★合流式改善対策について

合流式改善対策はごみ等の河川への流入を抑える即効性の雨水吐口対策、あるいは遮集管整備はすでに呑川流域について完了しており、他には下水道管内部の清掃、高濃度酸素水の注入、河川の越流物堆積箇所の浚渫等で、下水道法によれば東京都の場合、平成35年までに大雨時の各吐口からのBODを40mg/l以下にしなければならないが、それは主として貯留施設の設置により考えているとのことであった。ちなみに大田区環境調査報告書によると平成18年4月20日に池上五丁目の一本橋での測定はBODが270mg/lと記録されている。

しかし現実に大田区あるいは、呑川流域で貯留施設が設置できる場所は公園、校庭、第二京浜国道、生産緑地ぐらいいかなのではないか。実現のハードルは高いが、なんとか実現させるということだろう。

大雨による越流時の河川に流入する汚物は成因としては大雨時のトイレ糞尿、野菜くず、下水道管そのものの汚れ、道路の汚れであるとすれば大雨時には住民がトイレの使用を自粛するというのも一つの対策だろうという意見があり、都もそのようなアイデアがあることは知っていた。また油が下水道に入るためそれが下水道管に付着し、大雨時それが剥落し河川に流入するのであれば「油・断 快適」活動だけでなく、悪臭・スカム等の発生しやすい地区の下水道管の清掃を重点的に実施することが必要と思われる。

また下水道法によれば雨水の影響のあるときの吐口からの水質を年1回測定しなければならないと定められている。呑川の場合、その測定地点は工大橋の上流地点と定めているが、本年は測定してないとのことであった。

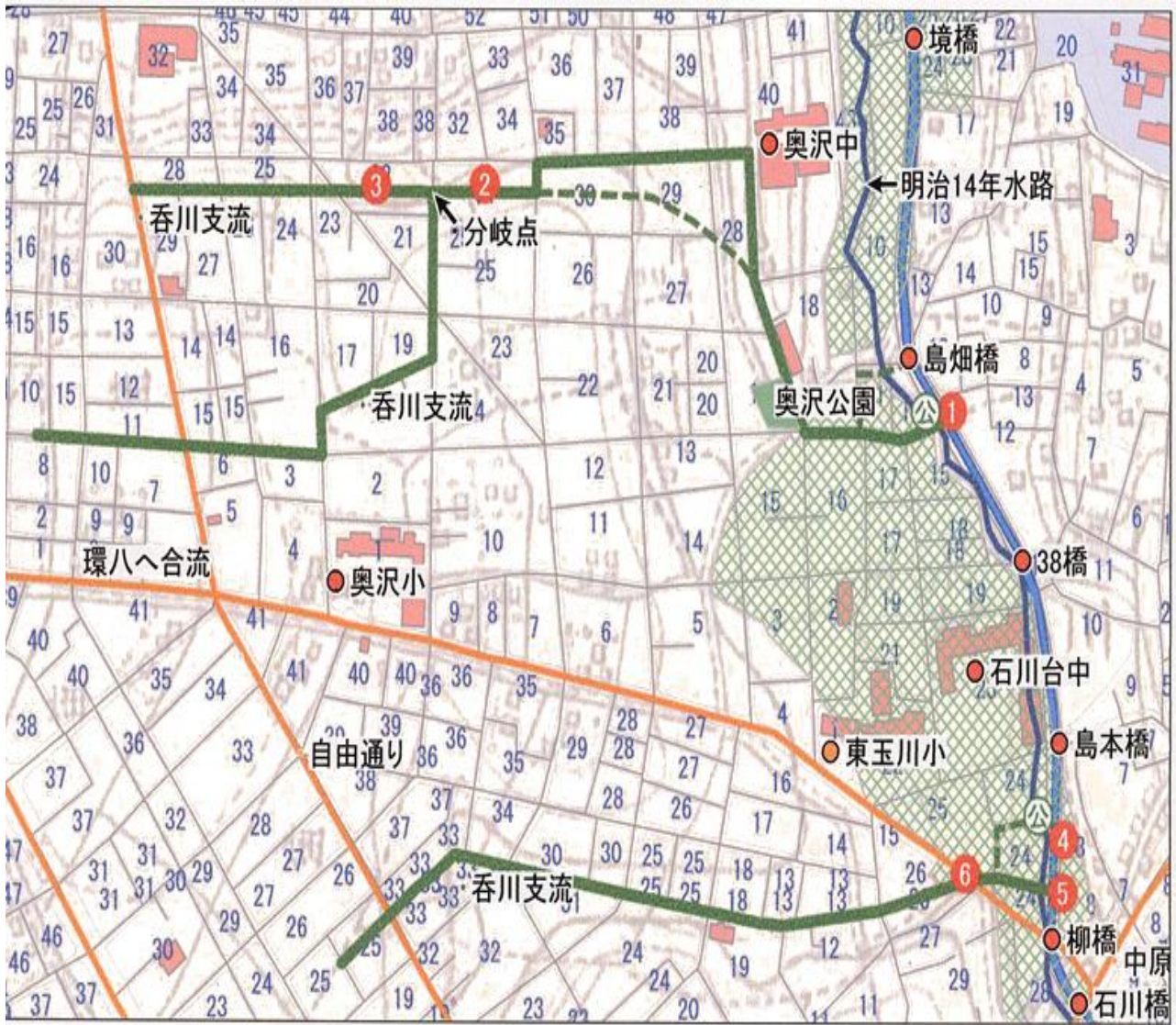
訪問した各部署ともお忙しいなか丁寧かつ率直に対応してくださったと思う。私たちの話した内容について都側で興味を示された事項もあり、今後とも私たち自身が検討を進め建設的な提案ができるようにレベルアップすることが呑川の悪臭対策として一つの道ではないかと思う。

以上



# 呑川に合流する「流れ」考 3 奥沢流れ

白石琇朗・寄立美江子



呑川は大井町線の緑が丘の少し上流から、現呑川の右岸を蛇行しながら世田谷区と目黒区の境を流れていました。①島畑橋下流の石川町二丁目児童公園脇に流れ口があり、遡ると奥沢公園に突き当たる。右に曲がり道路左側の歩道をたどり、駐車場右奥の地図にある点線個所をみて奥沢中学の角を曲がり、しばらくすると金網に突き当たり、左に曲がると②水の流れが始まります。支流で水の流れが確認できる



① 石川町 2-1 路 ②奥沢 3-31 水路 ③奥沢 3-22 水路

のは少ないので、貴重な流路だと思います。③の流れが終わったあとは、住宅街の中を「自由通り」に突き当たります。分岐している支流は、少し小高い丘で③の流れと分かれ、片側が歩道として残っている道をたどると、自由通りを渡り、奥沢 4-8 過ぎ迂ゆるい坂を辿れます。



もう一筋、呑川右岸の④しばさくらきんたろう公園脇の流路は、その少し下流の



### ⑤ 流路跡

と一緒に、⑥から住宅街の間を流れる。その細い水路跡を辿ると、雨水マンホールで水も確認でき、それから片側歩道をゆるく登って行くと東玉川 2-25 の住宅に突き当たっている。

④ 芝桜金太郎公園 ⑤ 石川町 2-24 流路跡 ⑥ 石川町 2-27 水路

## 呑川沿岸（工大橋～河口）の樹木 第 13 回 クロガネモチ

可 児 昭 雄



いよいよ紅葉のシーズンを過ぎようとしているが、天候不順の関係で従来の鮮やかな色彩には、ここ 2・3 年都会ではなっていないような気がする。

その中で、紅く彩っているのが「クロガネモチ」「ピラカンサンサス」の実、そして黄色の柑橘類等が、11月から2月頃まで楽しませてくれる。

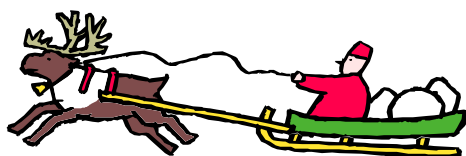
特に「クロガネモチ」は、大木になり多くの赤い実をつけ、寒々とした冬の景色を和ませてくれる。呑川沿いでは、「工大橋」「久ヶ原久根児童公園・2丁目広場」「馬引橋左岸」「桜梅公園」等にあるが、もっと利用したい樹木である。

鳥もちちは、この樹皮から採取する。

### クロガネモチ

- ・モチノキ科・常緑樹・雌雄異株
- ・関東以西に分布

(写真：工大橋自転車置場)





白石さんの案内で行われた今回のウォーキングは、前回も「神田川」の支流「善福寺川」だったが、今回もまた「神田川」の支流「妙正寺川」で、この流域の中身を深める、良い散策となった。西武新宿線「鷺ノ宮」駅のすぐ前をスタート地点とし、歩き始めると、なんとも心細い水の流れ・・・水源の「妙正寺池」から流れ出す水量の少なさに、都市河川の現状を思い知らされる。途中で「中野水再生センター」の高度処理水が入って、ようやく「呑川」のような水量になる。



しかし、普段水量が少ないといってもやはり都市河川・・・大雨が降れば事態は一変し、とりわけ本流の神田川流域は浸水被害を繰り返す。

そのため神田川に注ぐ善福寺川も、この妙正寺川も浸水対策に力を入れる。

左の写真は「落合公園」で、公園の下に川の水の取り入れ口が見える。ここは「妙正寺川落合調節池」になっていて、大雨時ここで貯留し下流側への水量を減らす。

雨がやんだらポンプでまた川に戻す。なる

べく早く戻さないと、次の雨を吸収できなくなり、貯留池の効果がなくなるからだ。

このような「調節池」は散策中、いたる所でみられた。

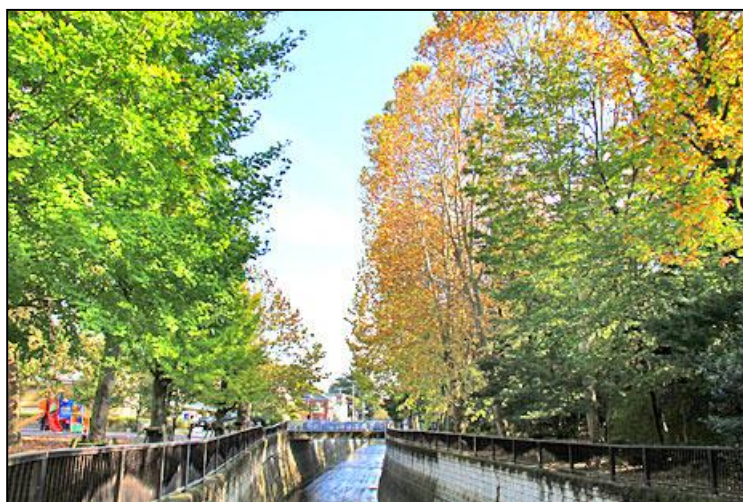
「環七」と交差するところには環七地下巨大調節池への取水口、「哲学堂公園」のそばには「第二調節池」、

「妙正寺公園」には「第一調節池」、「上高田運動場」の地下にも「上高田調節池」と続く。

そしてしかも、我々はさらに新しく作る「鷺ノ宮調節池」の建設現場にも遭遇した。

呑川と同じほぼ9kmに6つもの調節池を目の当たりにし、下流の神田川流域の商業ビル、オフィス街を断固して守る強い意思を感じさせられた。

「妙正寺川」は他にも見所は多い。



川の蛇行はよく保存され、3面コンクリート張り河川であっても、河床には自然河床のような土砂が敷き詰められていて、風情がある。

川の周りには大きな樹林が広がり、紅葉を期待したが、今年は暖かい日が続き、まだまだ緑濃かった。でもなんとも気持ちのいい散策となり、高田馬場近くで、皆で、コーヒーを飲んで疲れを癒やした。

**編集者コメント** 福井さんの投稿「呑川の浸水対策・合流式下水道改善対策」と読み合わせると、呑川の問題点が、より一層、理解できると同時に、妙正寺川・善福寺川との落差が際立ちます。

12月8日(木)、13時15分より開催されました。

呑川流域ネットワーク連絡協議会は、事前の11月22日(火)に大田区に対して「質問・要請・提案書」を提出し説明を行いました。

大田区からの回答は下記の通りです。



## 1. 大森南井丁目公園の欄干の改善

「当公園は防災船着場として考えており、東京都防災船着場整備計画及び大田区地域防災計画におきまして平成26～30年度の整備として計画されております。」と説明された。

私たちの主張は、防災船着場としての必要性と同時に、呑川には川の点検整備当のための梯子が設けられ、そこには扉が付けられ昇降が可能になっている。したがって単につけ忘れたか、現状を知らない人が発注し、そのまま作られたとしか思えない。こんな簡単なことがすぐ出来ない大田区の体質に疑問を感じざるをえない質疑でした。

## 2. 上流域まで豊かな魚の生息環境を確保するための要請

- (1) 池上橋から上流の区道に架かる橋の改修の際は、橋脚部分の河床を前後の河床より下げる

こと。  
橋梁の安全性・耐震性の確保のため、橋脚や橋台付近の河床の掘り下げは難しい。河床にコンクリートを張らない自然河床とすることが出来る可能性はありますので、橋梁の設計時には、東京都の意見を聞きながら検討したい。

- (2) 東京都に次の2点の工事他、呑川をもっと昆虫・魚・野鳥等の生きものが生息しやすい環境に整備することを大田区的意思として要請すること。

河川の整備や管理については、治水だけでなく、環境に配慮する必要があると考えている。現在、下流域での護岸等の耐震性向上が急務となっている。要望については東京都と相談して検討していく。

## 3. 呑川水質浄化実験のその後

調査の結果、放流口から上流側150m、下流側50mの範囲で、低層付近の溶存酸素の上昇が確認された。冬場は安定しているので、更なる改良・改善を行ったうえで、ライン年度の川の環境が悪化する時期に、実験を再開する予定。

## 4. 呑川サイン計画のその後

河口からの距離や標高を入れる事も検討し、平成25年度以降に実施を予定している。

## 5. 河床整正事業のその後の報告の要請

平成22年度は、太平橋～馬引橋(約300m)を実施。23年度は、馬引橋～JR高架橋までを実施。平成29年度までに完了予定。



## 6. 外来生物に対する取り組みについて

アリゲーターガーは、外来生物法の特定外来生物に指定されていないので、区として防除を実施していない。10月、フェンス撤去の際1匹を確保した。今後もパトロール時に観察調査を行っていく。

## 7. 呑川の放水量について

城南河川清流復活事業は、東日本大震災以降、放水量が節電対策のため50%に削減された。大田区としては、城南6区（大田・目黒・品川・渋谷・世田谷・港）と連携して、東京都（環境局、下水道局、建設局）に100%送水を働きかけ、7月15日70%、8月29日75%、9月9日100%となった。冬季も100%送水が出来るよう働きかけていく。

以上

10月16日 六郷用水ウォーキングで

呑川写真展開催

[記 菱沼公平]

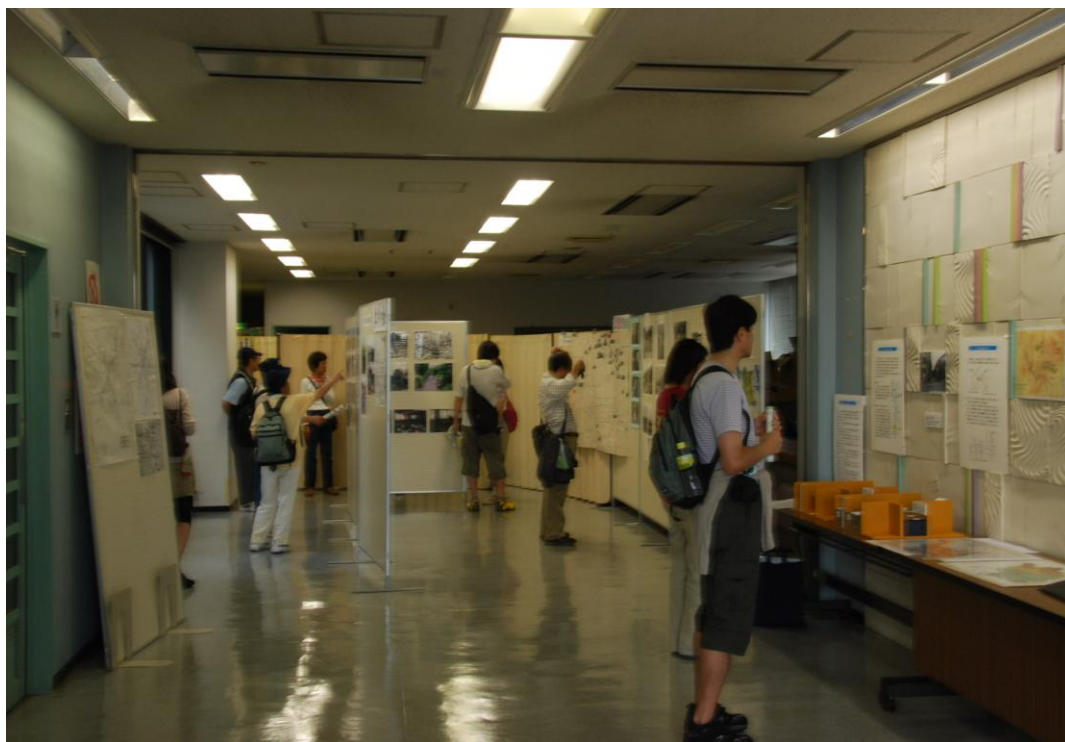


10月16日(日)大田区主催の～六郷用水400周年・六郷水門80周年記念～「六郷用水せせらぎウォーキング」の途中で呑川写真展を池上出張所の2階で行いました。

これはウォーキングの途中にある池上出張所においてウォーキング参加者への麦茶・休憩場所・トイレの使用・六郷用水に関する資料・写真などの展示を行いおもてなしを行う事になりました。この事前の打ち合わせの際、六郷用水の展示

だけでなく、この出張所が呑川の脇にあるという立地条件も良くぜひ呑川に関する展示も行いたいと申し入れた所、所長さんも快く受け入れていただき、「呑川新旧・生きもの写真展」開くことが出来ました。

展示した写真は、呑川新旧写真と呑川のいきもの写真です。当日は天候にも恵まれ絶好のウォーキング日和でした。主催者発表では1,000名を超える老若男女が参加しました。ウォーキングが目的のためか出張所の2階までにはなかなか上がってくれませんでした。それでも100名近くの人々が上がってきて熱心に写真や資料を眺めていました。説明員の説明に熱心に耳を傾けてくれた人や、いろいろと質問してくる人も少なくは有りませんでした。呑川の展示では、自宅の近くとか、こんなに生き物がいるのかとかいろいろな話が出ていました。ウォーキング終了近くに来たご夫婦は時間を気にしながらも熱心に話を聞いたり、質問をするなどこちらがハラハラする程でした。



呑川も六郷用水も地元の人には知れば興味のある存在だと言う事を実感することが出来ました。今後呑川写真展、シンポジウム、ウォーク、講座などいろいろな取り組みでもっとアピールする事が大切だと思いました。上流、中流、下流などの違いなど知ってもらうことが大切だと実感しました。

以上

## 西部八幡神社のどんど焼き

(大坪庄吾)



久が原にある八幡橋という呑川の橋は西部八幡神社をさしています。神社では毎年正月に一年間の無病息災を祈る伝統行事「**どんど焼き**」が行われています。2011年は、境内には正月に使った門松やしめ縄、書き初めが積み上げられ、火がともされると一気に燃え上がり、大勢の家族が炎を囲み、ふるまわれたとん汁と焼き芋をおいしそうにいただいています。2012年は1月9日(月)12時から同神社で行われます。

編集後記 「のみがわ」は会の活動記録であると共に、情報を共有し今後の活動に生かすために大変役立っています。今年も定例会をはじめ東京の河川ウォーク、小学校への案内等、無事に終了し、地域への貢献もできたと思います。高橋会員からの呑川レポートがたくさん届いていましたが、今号には活かせませんでした。編集にあたっては工藤会員に大変お世話になりました。よいお歳をお迎えください。左は、呑川は流れる 2004 表紙です。会員各位の会費を数十万円積み立て、全面改定の上、数年内に 201?年版を発行する準備をしています。

(大坪庄吾)

